



## 福岡ロジテック／配車マッチングシステム

# 社内掲示板機能を追加

## IT導入強化で効率高め

【福岡】福岡ロジテック（永山浩二社長、福岡県宇美町）は1日、2020年度経営計画発表会を開き、自社開発の配車システムで

求荷求車事業の効率を高め、いく方針を示した。リモートワークや情報共有にIT（情報技術）を駆使。従

業員の命と経営を守り、ウイズコロナ（新型コロナウイルスとの共生）時代を乗り切っていく。

19年11月、情報サービスのグループ企業、福岡ロジテック九州（永山美由紀社長、宇美町）と配車マッチングシステムを共同で開発。20年7月から、同システムに社内掲示板機能や配車ボード機能を追加した

経営計画発表会でIT強化の方針を掲げ

「ロジサマリー2」を稼働させた。

ロジサマリー2は、荷主企業や協力運送会社の過去の数年の詳細な取引情報が瞬時に表示され、需要予測や信用情報などを全社員で共有化する。配車業務の属人化が解消され、運行管理部門の働き方改革や若手の活躍に大きな効果を上げている。

JL連合会のローカルネットワークシステムや、日貨協連のWebKITと連携させて活用し、取り扱いを増やす考え。

このほか、福岡、佐賀の両県での営業所新設や、配車・運行管理システム販売会社設立の準備を進めていく計画を明らかにした。

福岡ロジテックの永山社長は「コロナ禍や多発する自然災害で社会は大きく変わった。自動運転などの技術革新も急速に進むだろう。時代の変化に素早く対応できる体制を整え、未来を描ける企業を目指す」と述べた。

（上田慎二）